

新事業分野を開拓する事業者を認定します

県は、新たな事業分野を開拓する事業者の販路開拓を支援するため、認定した事業者で一定要件を満たしている新商品について、県が随意契約(任意で決定した事業者との契約)を行うことができる制度を設けています。

2019年度は、公園や歩道、公共施設などで、アクセルとブレーキの踏み間違いや車の誤操作などの事故から人や建物を守る新しい構造の車止め「高強度ボラード(GTパイル、タフポール)」を開発した四国化成工業株式会社(丸亀市)を認定しました。

現在、2020年度の募集を行っています。
詳細は県ホームページでご確認ください。



GTパイル



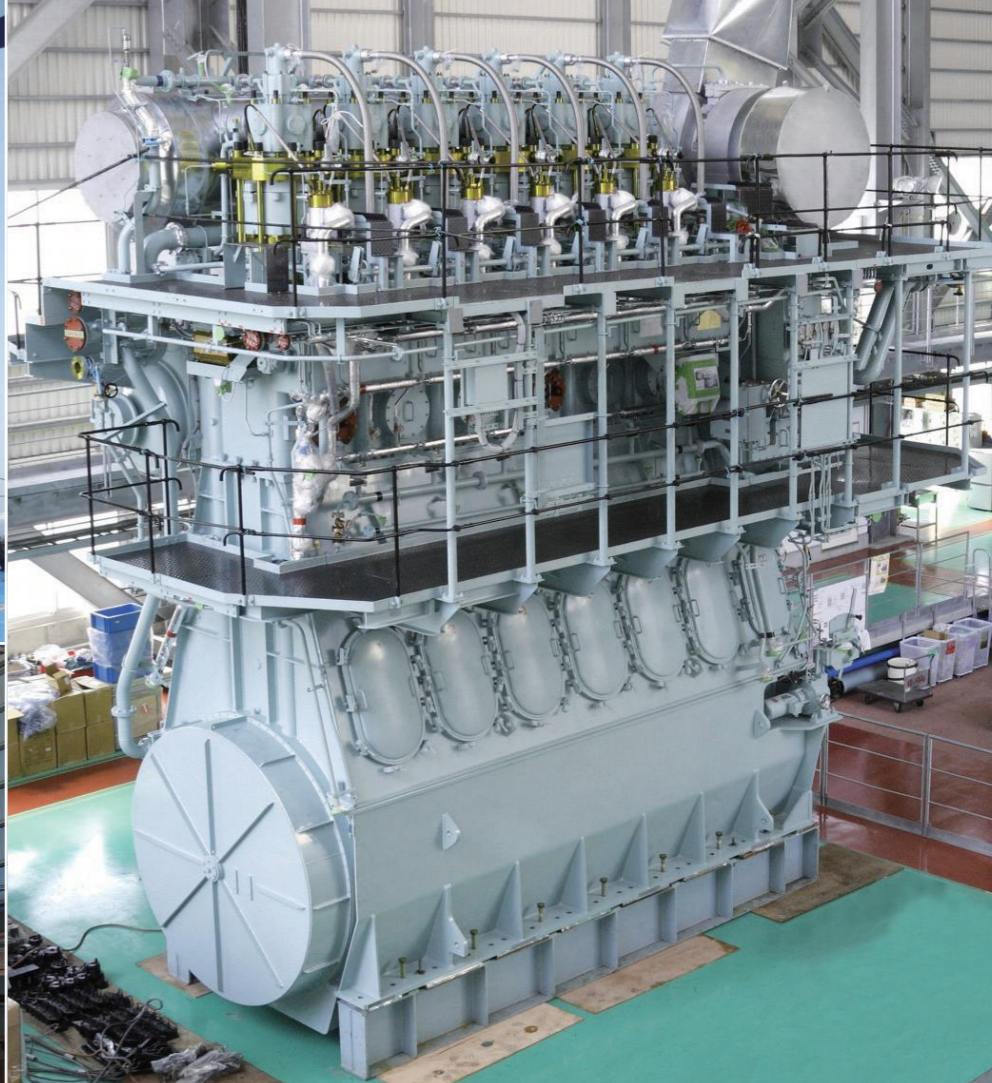
タフポール

(問い合わせ先)産業政策課 ものづくり振興グループ
高松市番町四丁目1番10号東館6階 ☎087-832-3351
Eメール:sangyo@pref.kagawa.lg.jp

詳しくは



横田裕社長



船舶用2ストロークディーゼルエンジン

世界に羽ばたく人「財育成を」
船舶用エンジンは寿命が長く、メンテナンスをしながら大切に使うていくもの。洋上で壊れない製品力の高さ、トラブルがあった時の対応力も問われます。同社は年間70〜80台を製造、現在世界中で稼働するおよ

夫」をモットーに、ライセンス元と共同開発したエンジンは、世界市場でも高い評価を受けています。
主な販売先は造船所ですが、ユーザーは世界中の船主。双方からのシビアな要求に応えながら、信頼と技術力を育んでいます。「いいものを作らなくてはリピートされません。造船所さまから見ると他社とは差別化しづらいものの、紙飛行機が折る人によって出来が違うように、エンジンもライセンスが同じだからといって性能も同一というわけではないのです。当社はランニングコストで差をつけようと努力していませんし、環境に優しいエンジンづくりも行っています。交渉力の強化、生産の効率化により、品質や経済性も向上するものづくりを追求しています。また、アフターサービス体制も拡充しており、世界トップシェアは、ひとえに長年にわたり信頼関係を構築してきた結果です」と、代表取締役社長の横田裕さん。

「財」が育てば、いずれは海外に拠点ができるかもしれないと誇りを持って働ける会社になりたいですね」と、横田さんは展望を語ります。

「瀬戸内海は造船業が集中し、互いに刺激し合いながら育ってきた土地柄です。その風土に支えられて当社も成長してきました。ビジネスチャンスを生かせる人「財」が育てば、いずれは海外に拠点ができるかもしれないと誇りを持って働ける会社になりたいですね」と、横田さんは展望を語ります。

問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課
☎087-868-9904

シビアなニーズに応え世界トップに
世界の海運を支える巨大な貨物船。私たちの社会や暮らしになくてはならない産業製品や食料の輸送量に基づいて、大小さまざまな船が造られ、世界の物流拠点を結んでいます。
創業110周年を迎えたばかりの株式会社マキタは、こうした貨物船に積む船舶用2ストロークディーゼルエンジンを造る四国で唯一のメーカー。船は世界中を巡るためパーツのほとんどが世界共通品で、エンジンのデザインも集約化されており、2ストロークディーゼルエンジンでは3つのライセンス(定められた規

格・仕様での生産許可)しかありません。同社は日本トップクラスの船舶用主機メーカーが取得しているライセンスを借りる形で、1〜4万ト級小型船向けエンジンを製造。約3万点の部品のうち主要なものは自社で加工、船の形によってカスタマイズも必要のため、ほとんどオーダーメイドの世界といえます。小型船といってもエンジンの大きさは2、3階建てのビルほどもあり、製造現場を見学すると、そのスケールに圧倒されます。
一方で、洋上でのトラブルを防ぐためには精度の高さも重要。ダイナミックかつ精緻なものづくりで、世界トップシェアを築いてきました。創業当時から掲げている「創意工

挑戦する **かがわ** 26

ものづくり企業

世界の海を駆け巡る貨物船の心臓部・エンジン。性能とサービス力を問われる業界で、獨創性を重んじる社風の下、世界で高く評価される製品を生み出し続ける香川のものづくり企業を紹介します。

株式会社マキタ

住居 高松市朝日町四丁目1-1
創業 1910年
☎087-821-5501
<https://www.makita-corp.com/>

